



国指定名勝 旧金石城庭園がオープン

新たな観光名所が誕生

上空から見た旧金石城庭園：中央には「心」の字をかたどった「心字池」があります。

県内では3カ所目となる国指定名勝『旧金石城庭園』が5月1日、厳原町今屋敷にオープン。一般に公開されることになりました。

この庭園は、昭和24年に宗氏から旧厳原町が厳原中学校用地として寄贈を受け、その後中学校の移転に伴い平成9年から行われてきた修復作業で、当時の姿に還元されました。対馬市は今後この庭園を、隣接する国指定史跡金石城をはじめ万松院、清水山城跡等の史跡ゾーンとして保存活用を図り、市民や観光客に親しまれるよう努めていく予定です。

平成19年2月に対馬で初めての国指定名勝に指定された『旧金石城庭園』は、対馬藩主宗家が政治を行う拠点として17世紀後半に築いた金石城の西方に位置しています。庭園の中心にある「心字池」は、2つの中島を持つ横長の池が「心」の字をかたどったように見えることからこう呼称され、宗家古文書の記事によると、元禄3〜6年（1690〜1693年）の間に、中庭茂三もさんによって作られたと推定されています。

金石城から庭園を眺めると万松院やその背後の山が借景となり、緑の山から大きな石を経て玉砂利に続き、水中に没していく様子が対馬の海岸のように見えるなど、地域の特性を生かしたつくりが特徴

的です。

5月10日には、開園を記念する式典が開催されました。当日はあいにくの雨となったため、式典会場を庭園から対馬市交流センターへ移し、テーブルカットに続いて、対馬市教育委員会による遺構説明や中村一京都大学名誉教授や文化庁の本中眞主任文化財調査官による記念講演が行われました。



テープカットを行う関係者

楽しいステージにおお盛り上がり POE with いっちゃんコンサート



テレビ番組の音楽コーナーで結成され、長崎を中心に演奏活動を行っている木管4重奏バンドPOEとテレビの司会等でおなじみの「いっちゃん」こと市原隆靖さんによるコンサートが5月18日、対馬市交流センターで開かれました。

市民に音楽に親んでもらおうと、対馬市イベント協議会が主催したはじめてのイベントです。

コンサートでは定番のクラシック曲に加え、幅広い層の観客に楽しんでもらおうと水戸黄門といった時代劇ソングやアニメソング等が演奏され、メンバーによるコミカルな寸劇もありました。会場には子どもから大人まで約500名の市民が来場し、ピアノ、オーボエ、クラリネット、ファゴットの美しい音色とショーを楽しみ、おおいに盛り上がりました。



現代生活に不可欠な電気。折れた電柱の仮復旧訓練を行う九州電力(株)のみなさん



水防訓練。陸、海、空の自衛隊、対馬市消防団が協力して土のうを積み上げました。



事故車両から負傷者の救出訓練を行う対馬市消防本部

平成20年度(第49回)長崎県総合防災訓練

52機関、約1000名が実践さながらの訓練を実施



バケツリレーで火災消火訓練を行う豆酩婦人消防隊

防災を担う各機関や団体の連携を強化し、有事の際の即応体制の確立と防災意識の高揚を図ることを目的とする長崎県総合防災訓練が5月18日、グリーンピアつしま(美津島町雑知)で開催されました。

長崎県及び対馬市が主催したもので、金子原二郎知事を統監、財部能成市長を副統監として午前7時30分に訓練開始。陸、海、空の自衛隊をはじめ消防、警察、民間企業、消防団など52機関、約1000人が参加し実践的な訓練を行いました。訓練想定は、局地的な豪雨により対馬地方に「大雨・洪水警報、雷・強風・波浪注意報」が発令される中、対馬近海を震源とする大地震が発生し大規模な災害が発生したというもの。

会場では、倒壊家屋の下敷きになった負傷者の救出訓練や、行方不明者の捜索、火災消火訓練や、土のうを積み重ねる水防訓練、事故車両からの救出訓練のほか、防災ヘリを使用しての中高層建物からの救助や、航空自衛隊ヘリによる山林火災空中消火など様々な訓練が実施されました。緊迫した雰囲気の中、参加者は実践さながらの訓練を通して、有事の際の手順を確認していました。

住宅防火モデル地区に 美津島町雑知の「上の町第二」地区を指定

対馬市消防本部は、住宅火災による死者減少を目標に、住民の防火意識を高めるため5月1日、美津島町雑知の「上の町第二」地区(阿比留廣見区長、139世帯386名)を住宅防火モデル地区に指定し、消防署美津島出張所で指定書の交付式を行いました。

指定期間は2年間。同地区では消防署、消防団、婦人防火クラブ等が連携・協力して防火教室・消火訓練等や、住宅用防災機器等の普及促進等住宅防火対策の充実に取り組みます。

モデル地区は、校区単位でも指定できます。最寄りの消防署へお問い合わせ下さい。



入江を彩る純白の花を楽しむ 第20回 ひとつばたご祭り



ひとつばたごと記念撮影する親子



苗木の販売コーナー



来場者にお茶を振る舞う子どもたち

ゴールデンウィーク恒例行事「ひとつばたご祭り」が5月4日、上対馬町鰐浦地区で開催されました。同地区は国の天然記念物「ひとつばたごの群生地」があり、毎年この時期には湾の入江を囲む山の斜面にひとつばたごの白い花が数多く咲き乱れ、観光名所になっています。祭り当日はあいにくの曇り空となりましたが、約3,500人の人出で賑わいました。会場では、太鼓演奏や日本舞踊などの催しに加え、地元の子供も来場者にお茶を振る舞いました。また、特産品コーナーではひとつばたごの苗木をはじめ、ヒジキなど地元特産品の販売コーナーが人気を集めていました。



あたたかい寄付ありがとうございます

扇精光(株)が写真集60冊寄贈

対馬の児童生徒に郷土の豊かな自然を理解してもらおうと、建設コンサルタント、OA機器販売等を手がける扇精光(株)が写真集60冊を対馬市へ寄贈しました。寄贈された写真集「対馬 照葉樹林の四季」は、森林撮影の第一人者である水越武氏の撮影によるもので、龍良山の森、ゲンカイツツジやオウゴンオニユリ、白嶽、女連の洗濯岩など対馬の豊かな自然が美しく迫力のある写真で収められています。写真集は市内の各学校の図書室をはじめ、つしま図書館、地区公民館などに配布予定です。ぜひ一度ご覧ください。

- バレーボール**
 男子 1位大船越、2位雑知、3位東部、厳原
 女子 1位豊玉、2位西部、3位佐須奈、今里
- バスケットボール**
 男子 1位雑知、2位厳原、3位久田、佐須
 女子 1位久田、2位厳原、3位大船越、雑知
- ソフトテニス**
 男子 1位西部、2位浅海、3位豊、豊玉
 【個人】1位小島久功・齋藤純生(浅海)、2位大谷眞純・前野智輝(佐須奈)、3位米田良太郎・山崎雅(南陽)・多田光博・松村寛紀(西部)
- 女子 1位仁田、2位佐護、3位厳原、大船越
 【個人】1位糸瀬あいら・惣島若菜(仁田)、2位糸瀬みさき・阿比留舞(仁田)、3位三山美奈・幾度杏奈(佐須)、阿比留奈穂・尾崎麻由(厳原)
- 剣道**
 男子 1位久田、2位厳原、3位豊玉、佐須
 (個人) 1位神宮浩司(厳原)、2位田崎裕介(厳原)、3位阿比留雅浩(厳原)
- 女子 1位厳原、2位南陽、3位比田勝、雑知
 (個人) 1位天野真歩(厳原)、2位武田眞子(比田勝)、3位築地史乃(比田勝)



県大会出場をかけた熱戦
 対馬市中学校体育大会(球技・武道大会)

5月11、12日の両日、第49回対馬市中学校体育大会の球技・武道大会が峰、豊玉の各会場で開かれ、全島から集まった中学生が母校の誇りと県大会出場をかけて、熱戦を繰り広げました。観客席には保護者らが数多く詰めかけ、子どもたちのハッラツとしたプレーに、大きな声援を送っていました。

各競技の結果は次のとおりです。なお、県大会は7月26日、28日まで長崎市、諫早市、佐世保市の各会場で開催されます。

(写真) バスケットボール男子予選(比田勝vs雑知)



対馬藩武士に扮し釜山でパレード

2008 朝鮮通信使 韓日文化交流祭

5月3日、韓国釜山市で開催された2008 朝鮮通信使 韓日文化交流祭で、朝鮮通信使行列が再現され対馬藩武士団もパレードに参加しました。

武士には対馬市内からの応募者に加え、釜山へ留学中の大学生2人も参加し総勢19人が衣装をまとって繁華街を約1時間練り歩きました。

釜山市民にとって日本の武士の姿はとても珍しかったようで、数多くの韓国人から「一緒に撮らせてください」と記念撮影をお願いされ、参加者は「有名人になった気分」と上機嫌でした。

シリーズ「人権教育総合推進地域事業」の取組 その

対馬市教育委員会

人権コラム

「さりげない一言で問われる あなたの感性」

灼けつくような真夏の太陽が、ジリジリと照りつけている道路で、汗と泥にまみれて水道工事をしているおじさんたちがいました。

A 五歳くらいの子どもを連れてた母親が通りかかり、そっと指さして言いました。

「ちゃん、しっかり勉強しないとあのおじさんみたいになるわよ」

男の子はうなずきました。

B しばらくして別の親子が通りかかりました。男の子は、水道工事の仕事を興味深げに見ています。母親が言いました。「ちゃん、こんなに一所懸命仕事をしてくれているおじさんたちがいるから、おいしい水も飲めるし、お風呂にも入れるのよ。」

男の子は、にっこり笑ってうなずきました。

働くおじさんの姿を見た二人の母親の言葉を皆さんはどう思いますか？

母親の言葉をうなずいて聞いた、子どもたちの心に「働くおじさんたちの姿」はどう映ったと思いますか？

Bの子は蛇口をひねるたびに汗を流して働いているおじさんたちの姿を思い出して大切に水を使う子になるでしょうね。

反対に、母の言葉をうなずいて聞いたAの子の心には、おじさんたちの仕事に対する偏見が植え付けられてしまったことでしょう。母親の何気ない一言によって、二人の子の「人（働くおじさん）を観る目」には、大きな開きが生まれてしまいました。

このようにして子どもたちは育てられるのだと思います。

このようにして偏見が親から子へと受け継がれていくのです。二人の子どもの心に宿った思いは、それぞれの母親の思いそのままです。

さりげない一言で、

親としての、人間としての

あなたの感性が

問われています。

【県PTA新聞コラム いぶき】

平成4年9月10日発行

対馬海区漁業調整委員会委員一般選挙

投票日は、平成20年7月31日（木）執行予定

8月14日に任期満了を迎える対馬海区漁業調整委員会委員一般選挙は、7月22日告示、7月31日投開票の日程で執行される予定です。

立候補届出 受付場所及び日時	対馬市役所別館第1会議室 (対馬市厳原町国分1441番地)	7月22日(火) 午前8時30分～午後5時
立候補届出 関係書類 備付場所	対馬市選挙管理委員会事務局内 長崎県選挙管理委員会対馬臨時 地方書記室	7月15日(火)～7月17日(木) 午前8時45分～午後5時30分
立候補届出書類 事前審査場所及び期間	(対馬市厳原町国分1441番地)	

【問い合わせ】対馬市選挙管理委員会及び対馬市各支所地域振興課内 選挙書記まで